

## すくわくプログラム推進事業実践報告書

所在地	東京都新宿区払方町 19-1 エムジー市ヶ谷ビル 2 階 3 階
施設名	ポピングスナーサリースクール市ヶ谷

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

職場見学～偕成社～

<テーマの設定理由>

普段何気なく読んでいる絵本。無印良品の職場体験をするにあたり「仕事」について考えたあと「絵本って誰が作っているんだろう」と興味を持ったお子様たち。これも「仕事」で作っている人がいると保育士が答えると「えー！ そうなんだ」「どうやって作るんだろう」「表紙は誰が描いてるのかな」「題名はどうやって決めるんだろう」と様々な疑問が出た。施設長がナーサリーの近くにある偕成社にアポイントを取り、会社見学をさせてもらうことになった。

### 2. 活動スケジュール

- 12月中旬 絵本について疑問があがる
- 1月上旬 偕成社へ見学ができるかメールにて問い合わせ
- 1月17日 事前学習
- 1月24日 偕成社の絵本を読む
- 1月28日 職場見学（4, 5歳児）
- 1月31日 スタッフミーティングにて共有
- 2月8日 懇談会にて保護者へ共有

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

数回に分けての事前学習

ナーサリー内にある偕成社の絵本を集め手に取れるところに置いておいた

### 4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

当日は年齢ごとに分かれて会社見学を実施

オフィス内の見学をした。また、絵本を販売する際に使う POP をいくつか見せてもらった。オフィスのいたるところに絵本のキャラクターがおり見つけては嬉しそうにしていた。

製作部フロアでは製本・販売前の色のチェック体験をした。

見学の最後は「おはなしの部屋」にてそれぞれ好きな絵本を読んだ。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり

【4歳児】普段見慣れないオフィスに興奮し、色々な物を見て楽しんでいた。POPの説明を受けると「本屋さんでみたことある」「触ったことある」とお話しをしていた。

【5歳児】製本・販売前の色チェックの場面では虫眼鏡のような物を使ってチェックをした。色が点で描かれていることの説明を受け、実際に見てみると「ほんとに点だ！」「こんな風にできるんだ」「すごーい」と話しをしていた。

最後、合同での質問コーナーでは質問コーナーでは「表紙はどんな素材なのか」「何を使って絵を描いているのか」「絵本のタイトルはどのように入れるのか」など事前に調べて疑問に感じたことを質問していた。



写真 2枚以上を貼付してください。  
（複数枚提出可能です、公開可能なものを使用ください。）

## 5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

いつも読んでいる絵本について詳しく学べる良い機会となった。また、色のチェック検査では実際に使っている用具を使ってみることができ普段ではできない体験をさせていただきお子さまの新たな発見にもなったと思う。今後もお子さまの言葉や疑問から様々なことを実際に体験できる機会を作っていくたい。